

PayPay投信 NASDAQ100インデックス

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第2期(2023年6月26日決算)

作成対象期間(2022年6月28日～2023年6月26日)

第2期末(2023年6月26日)	
基準価額	12,901円
純資産額	1,297百万円
騰落率	30.8%
分配金合計	0円

(注)騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

受益者の皆様へ

平素は「PayPay投信 NASDAQ100インデックス」(以下、「当ファンド」という場合があります。)にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第2期決算を行ないました。当ファンドは、米国の金融商品取引所に上場されている株式のうちNASDAQ100指数に採用されている銘柄を実質的な主要投資対象とし、NASDAQ100指数(配当込み、円ベース)に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なっております。当期につきましても運用の基本方針に沿った運用を行ないました。期中の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

PayPayアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地

サポートダイヤル

0120-580446

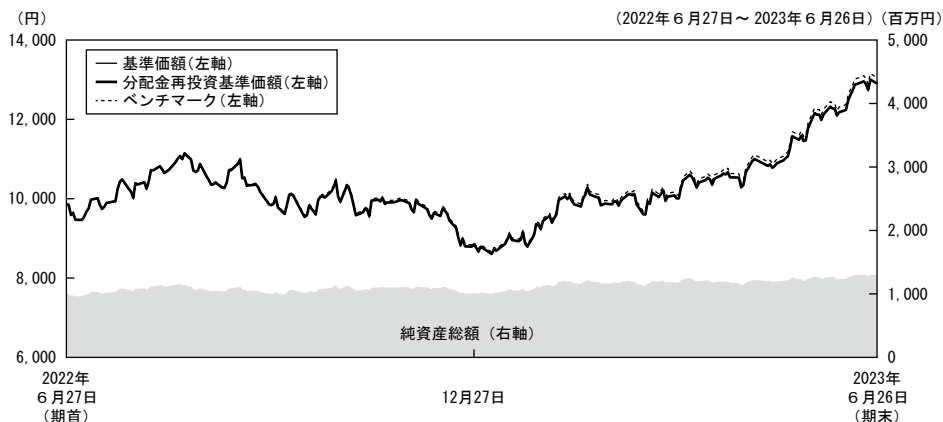
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

<https://www.paypay-am.co.jp>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第2項に規定する電磁的方法をいいます。)により提供する旨を定めております。上記「サポートダイヤル」に記載の弊社ホームページの「ファンド情報」のページより当ファンドの運用報告書(全体版)を閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

《運用経過》

【基準価額等の推移について】



第2期首：9,865円

第2期末：12,901円(既払分配金 0円)

騰落率：30.8%(分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

米国の金融商品取引所に上場されている株式のうちNASDAQ100指数に採用されている銘柄を実質的な主要投資対象とし、NASDAQ100指数(配当込み、円ベース)に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なった結果、ベンチマークが上昇したことなどから基準価額は上昇しました。詳しくは【投資環境について】をご参照ください。

*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、分配を見送らせていただいた場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

*ベンチマークは、NASDAQ100指数(配当込み、円ベース)です。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

※NASDAQ100指数(配当込み、円ベース)は、原則として基準価額計算日前日付のNASDAQ100指数(配当込み、米ドルベース)をもとに、基準価額計算日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。

●「NASDAQ100指数」について

本ファンドは、Nasdaq, Inc.またはその関連会社(Nasdaq, Inc.、その関連会社と共に「Nasdaq社」と総称します。)によって、支援、承認、販売または促進されるものではありません。Nasdaq社は、本ファンドに関する記述および開示の合法性、適合性、正確性または妥当性を保証するものではありません。Nasdaq社は、本ファンドの投資者または公衆一般に対して、本ファンドへの投資の推奨およびNasdaq-100 Indexの一般的な株式市場への追随可能性に関して、明示的または黙示的を問わず、表明または保証も行いません。PayPayアセットマネジメント株式会社とNasdaq社の関係は、Nasdaq®、Nasdaq-100 Index®の商標登録およびNasdaq社の一定の商号の使用を許諾すること、ならびにPayPayアセットマネジメント株式会社または本ファンドとは無関係にNasdaq社が決定、構築および算出を行うNasdaq-100 Indexの使用の許諾に限られます。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Indexの決定、構築および計算を行う際に、PayPayアセットマネジメント株式会社および本ファンドの投資者の要望を考慮するものではありません。Nasdaq社は、本ファンドの発行タイミング、価格、数量、および本ファンドの換金に関する計算方法について責任を負わず、また関与しません。Nasdaq社は、本ファンドの管理、マーケティングまたは取引について責任を負いません。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Indexに含まれるデータの正確性および中断のない計算を保証するものではありません。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Indexに含まれるデータを利用して、PayPayアセットマネジメント株式会社、本ファンドの投資者およびその他のいかなる個人および団体に生じた結果に関して、明示的または黙示的を問わず、保証を行いません。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Indexまたはその中に含まれるデータの使用に関する特定の目的に対する商品性または適合性について、明示的な全ての保証を否認します。上述の内容に限らず、Nasdaq社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的もしくは間接的な損害について、当該損失の可能性について通知されたとしても、一切の責任を負いません。

【1万口当たりの費用の明細】

項 目	第2期		項 目 の 概 要
	(2022. 6. 28～2023. 6. 26)		
	金 額	比 率	
信託報酬	42円	0.417%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10,125円です。
（投信会社）	(18)	(0.176)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(22)	(0.219)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0.038	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数。売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(3)	(0.032)	
（先物・オプション）	(1)	(0.006)	
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数。有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.000)	
その他費用	47	0.462	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(38)	(0.371)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.019)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（法定開示に係る費用）	(7)	(0.072)	印刷会社等に支払う目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付等に係る費用
合 計	93	0.917	

* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

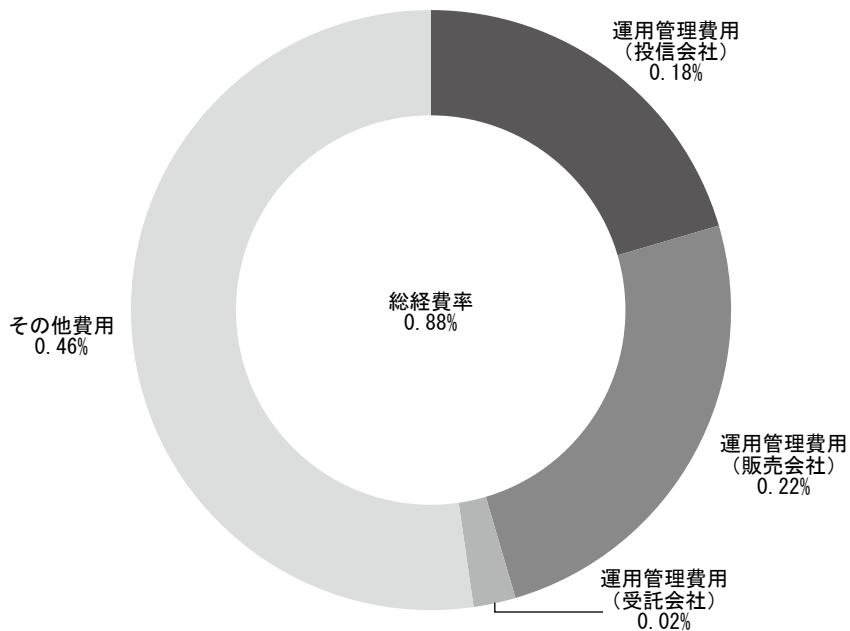
* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.88%です。



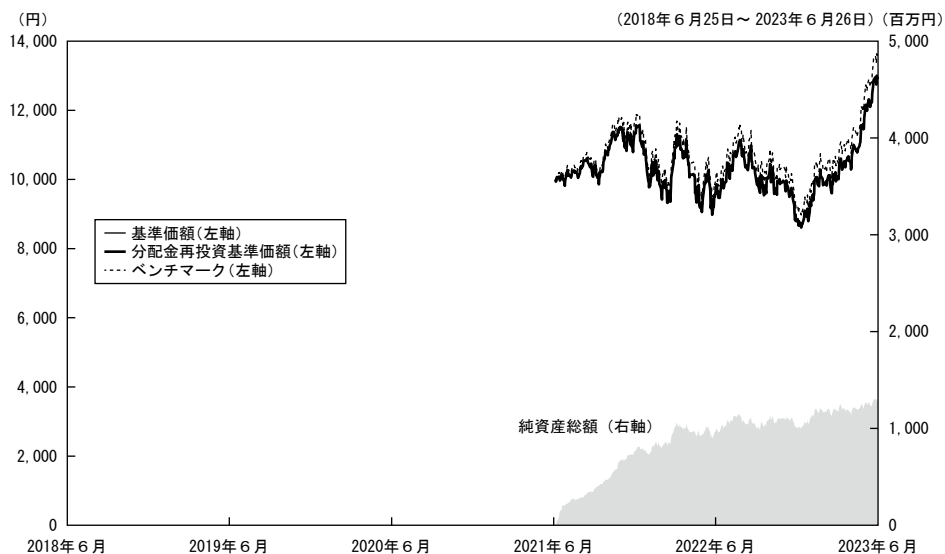
*費用は、1万円当たりの費用の明細において用いた簡便法により算出したものです。

*各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値です。

*上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

【最近5年間の基準価額等の推移について】



- *分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。
- *分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- *ベンチマークは、NASDAQ100指数（配当込み、円ベース）です。詳細は1ページをご参照ください。ベンチマークは、設定日の基準価額をもとに指数化したものです。

		2018年6月25日	2019年6月25日	2020年6月25日	2021年6月25日	2022年6月27日	2023年6月26日
基準価額	(円)	—	—	—	—	9,865	12,901
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	—	—	—	—	30.8
ベンチマーク騰落率	(%)	—	—	—	—	—	32.3
純資産総額	(百万円)	—	—	—	—	998	1,297

*当ファンドの設定日は2021年6月29日であり、一印は表示可能な値がないことを示しております。

【投資環境について】

インフレのピークアウト期待などを背景に期初から2022年8月半ばまでの米国株式市場は上昇基調で推移しました。しかし、米連邦準備理事会（FRB）による積極的な利上げ継続が景気後退（リセッション）を招くとの警戒感などから2023年1月半ばまでは冴えない展開となりました。その後も、米国のシリコンバレー銀行の破綻などからリスク回避の動きが強まる場面がありました。しかし、利上げ打ち止め期待が広がったことや総じて良好な企業業績などを背景に3月半ば以降は上値を迫る動きとなりました。為替相場は、2022年10月に約32年ぶりとなる1ドル＝150円台を付けました。その後は、日本の金融緩和政策が修正されるとの見方などから2023年の年明けにかけて円高が進行しましたが、植田日本銀行新総裁が金融緩和政策の早期修正に否定的な見解を示したことを受けて4月以降は再び円安基調で推移しました。

【ポートフォリオについて】

〈PayPay投信 NASDAQ100インデックス〉

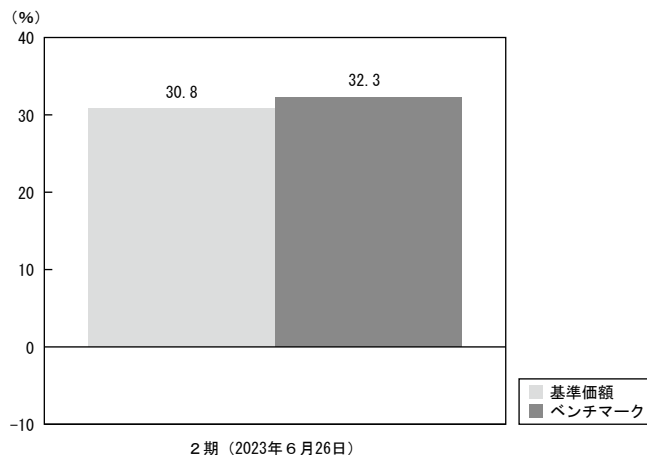
当ファンドは、NASDAQ100インデックスマザーファンド（以下、「マザーファンド」という場合があります。）受益証券を中心に投資を行なうことを基本としています。マザーファンドにおいては、米国の金融商品取引所に上場されている株式のうちNASDAQ100指数に採用されている銘柄を主要投資対象とし、NASDAQ100指数（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なうことを基本としています。なお、株式への投資に代えて、上場投資信託証券や株価指数先物取引を利用する場合があります。

当ファンドは、運用の基本方針に則り、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

〈NASDAQ100インデックスマザーファンド〉

当期も、運用の基本方針に則り、米国の金融商品取引所に上場されている株式のうちNASDAQ100指数に採用されている銘柄を主要投資対象とし、NASDAQ100指数（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないました。また、NASDAQ100指数に採用されている銘柄を一括で売買できない場合等においては、株式への投資に代えて、株価指数先物取引を利用することにより、期を通じて実質的な株式組入比率（上場投資信託証券や株価指数先物を含めた組入比率をいいます。）を概ね100%で推移させました。

【ベンチマークとの差異について】



当期の当ファンドの基準価額の騰落率は+30.8%、ベンチマークの騰落率は+32.3%となりました。信託報酬やその他費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がマイナス要因となりました。また、保有有価証券等（株価指数先物を含みます。）とベンチマークとの騰落率の差異もかい離要因としてあげられます。

【分配金について】

収益分配金（1万口当たり、課税前、以下同じ）については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し元本部分と同一の運用を行ないます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	第2期
	2022年6月28日 ～2023年6月26日
当期分配金(税込み)	－円
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,901円

- * 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

〈PayPay投信 NASDAQ100インデックス〉

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資し、NASDAQ100指数（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないます。

〈NASDAQ100インデックスマザーファンド〉

今後も米国の金融商品取引所に上場されている株式のうちNASDAQ100指数に採用されている銘柄を主要投資対象とし、NASDAQ100指数（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なってまいります。なお、NASDAQ100指数に採用されている銘柄を一括で売買できない場合等においては、株式への投資に代えて、上場投資信託証券や株価指数先物取引を利用してまいります。

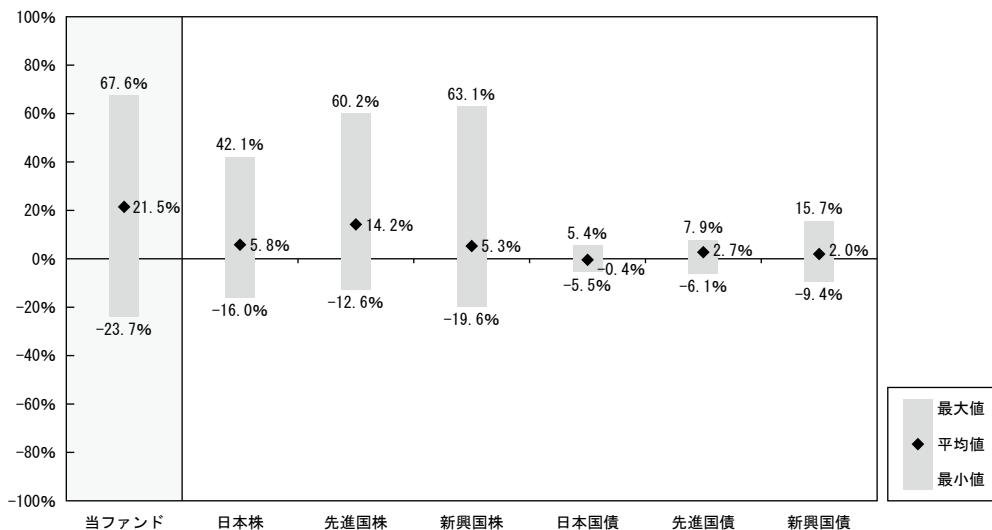
今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

《当ファンドの概要》

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限です。ただし、元本金額が10億円を下回った場合などはファンドを終了（繰上償還）させる場合があります。	
運用方針	この投資信託は、NASDAQ100指数（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないます。	
主要投資対象	PayPay投信 NASDAQ100 インデックス	NASDAQ100インデックスマザーファンド（以下、「マザーファンド」という場合があります。） 受益証券を中心に投資します。
	マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場されている株式のうちNASDAQ100指数に採用されている銘柄を 主要投資対象とします。
運用方法	<p>①米国の金融商品取引所に上場されている株式のうちNASDAQ100指数に採用されている銘柄を実質的な主要投資対象とし、NASDAQ100指数（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないます。なお、株式への投資に代えて、上場投資信託証券や株価指数先物取引を利用する場合があります。</p> <p>②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。</p> <p>③実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④市場動向、資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>	
分配方針	<p>①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。</p> <p>②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。</p> <p>③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行ないます。</p>	

〈 参 考 情 報 〉

◆代表的な資産クラスとの騰落率の比較



・上記は、2018年6月から2023年5月の5年間ににおける1年騰落率の最大・最小・平均を代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドについては、過去5年分のデータがないため、算出可能な期間についてのみ表示しています。ファンドの年間騰落率がない期間については、ベンチマークの年間騰落率で代替して表示しています。

・各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBP-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※騰落率は直近前月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

《ファンドデータ(2023年6月26日現在)》

【当ファンドの組入資産の内容】

■組入(上位)銘柄

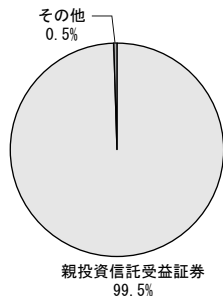
(組入銘柄数：1銘柄)

銘柄名	比率(%)
NASDAQ100インデックスマザーファンド	99.5

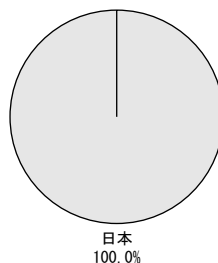
*比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

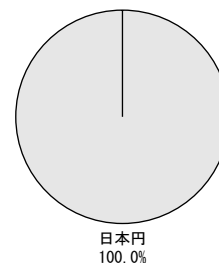
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



*比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

【純資産等】

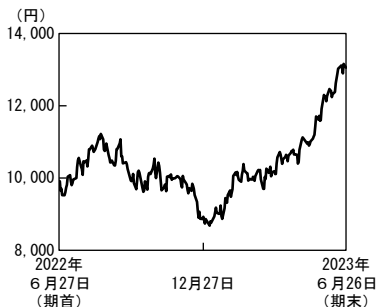
項目	第2期末
	2023年6月26日
純資産総額	1,297,547,823円
受益権総口数	1,005,766,376口
1万口当たり基準価額	12,901円

*当期中における追加設定元本額は650,599,360円、同解約元本額は656,603,425円です。

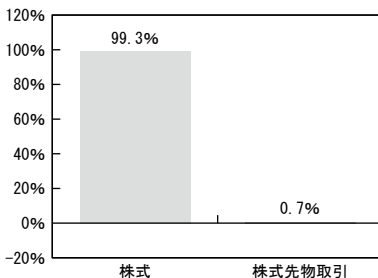
【組入上位ファンドの概要（2023年6月26日現在）】

◆NASDAQ100インデックスマザーファンド（計算期間 2022年6月28日～2023年6月26日）

■基準価額の推移



■資産別配分



*比率は、NASDAQ100インデックスマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

■1万口当たりの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	4円 (3)
(先物・オプション)	(1)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	38 (38)
合計	42

*期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。各項目の概要については、2ページをご参照ください。

*「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

【株式の内容】

■組入(上位)銘柄

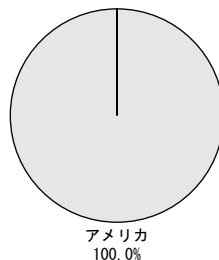
(組入銘柄数：101銘柄)

順位	銘柄名	比率 (%)
1	MICROSOFT CORP	12.8
2	APPLE INC	12.3
3	NVIDIA CORP	7.0
4	AMAZON.COM INC	6.9
5	META PLATFORMS INC-A	4.3
6	TESLA INC	4.2
7	ALPHABET INC-CL A	3.8
8	ALPHABET INC-CL C	3.8
9	BROADCOM LTD	2.3
10	PEPSICO INC	1.7

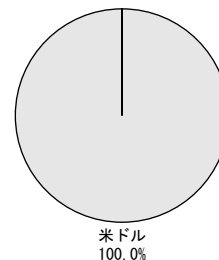
*組入(上位)銘柄の比率は、NASDAQ100インデックスマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分、通貨別配分の比率は、NASDAQ100インデックスマザーファンドの株式先物取引全体に対する評価額の割合です。

*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

■国別配分



■通貨別配分



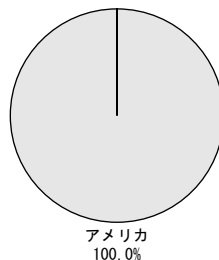
【株式先物取引の内容】

■組入(上位)銘柄

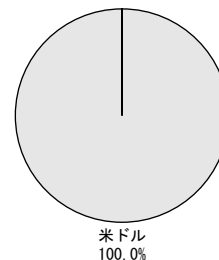
(組入銘柄数：1銘柄)

順位	銘柄名	比率 (%)
1	NASDAQ100先物(2023年9月限)	0.7
2	—	—
3	—	—
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—

■国別配分



■通貨別配分



*組入(上位)銘柄の比率は、NASDAQ100インデックスマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分、通貨別配分の比率は、NASDAQ100インデックスマザーファンドの株式先物取引全体に対する評価額の割合です。

*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。